

エクメア種苗特性分類調査基準

重要な形質	形質	定義	調査方法	状態又は区分	階級	標準品種名	備考
(01) 草姿	(01) 草型	側面からみた草型	観測 (図1)	開張型 中立型	3 5 7	A. fulgens A. blumenavii A. Foster's Favorite	
	(02) 植物体基部の膨大	植物体基部のふくらみ程度	観測	無 やや有り 有り	1 5 9	A. chantinii A. fasciata A. recurvata	
	(03) 草丈	開花時における自然の状態で地際部より葉の最高位までの長さ	測定 cm単位	低い (30cm以下) 中 (31~59) 高い (60以上)	3 5 7	A. recurvata A. caudata A. dichlamydea var. trinitensis	開花時の草丈
	(01) 葉形	成葉の形	観測 (図2)	線形 広線形 皮針形	1 2 3	A. tillandsioides A. fasciata A. flugens A. recurvata	

(02) 葉	(02) 先端の形	成葉の先端部の形	観 (図 3)	鋭 急 急 鈍 円	頭 鋭 鋭 尖 頭 端	1 2 3 4 5	A. recurvata A. weilbachii A. lamarchei A. mexicana A. fasciata	
	(03) 葉身基部の広がり	葉身基部が中間部より 広がっているかどうかの区分	観 (図 4)	I II III		1 2 3	A. spicata A. fasciata A. recurvata	
	(04) 葉縁の波うち	成葉の縁の波うちの有無	観	無 有		1 9	A. caudata A. pectinata	
	(05) 断面の形	成葉の中間部において 湾曲しているかどうかの区分	観 (図 5)	平 湾	開 曲	1 2	A. penduliflora A. fasciata	成葉の中間部
	(06) 葉身のそり	成葉の縦方向のそりの 程度	観 (図 6)	I II III IV その他		1 2 3 4 9	A. Foster's Favorite A. fasciata A. orlandiana A. fulgens	上位の成葉
	(07) 葉の先端部のそり	成葉先端部のそりの程 度	観	無 有		1 9	A. Foster's Favorite A. chantinii	上位の成葉
	(08) 葉身のねじれ	成葉のねじれの有無	観	無 有		1 9	A. fasciata	上位の成葉

i

重要な 形質	形 質	定 義	調 査 方 法	状 態 又 は 区 分	階 級	標 準 品 種 名	備 考
(02) 葉	(09) 葉身の長さ	最長葉の基部から先端部までの長さ	測定 cm	1.0 cm以下 1.1~2.0 2.1~3.0 3.1~4.0 4.1~6.0 6.1~8.0 8.1 以上	1 2 3 4 5 6 7		地際より最長葉を測定
	(10) 葉身の幅	最長葉の中間部の幅	測定 cm	1.0 cm以下 1.1~2.0 2.1~3.0 3.1~5.0 5.1~7.0 7.1~9.0 9.1 以上	1 2 3 4 5 6 7		成葉の中間部
	(11) 葉色の変化	葉齢による葉の色の変化の有無	観察	無 有	1 9	A. fasciata A. pectinata	
	(12) 成葉の表面先端部の色	成葉表面の葉身先端部の地色	測定 RHS カラーチャート	黄 灰 緑 濃緑 紫 紅 他の の	1 2 3 4 5 6 7 9		斑入りを除く成葉で測定

(02) 葉	(13) 成葉の表面中間部の色	成葉表面の中間部の地色	測 定 RHS カラーチャート	灰 淡 濃 緑 紫 紅 他 黄 緑 の	1 2 3 4 5 6 7 9		斑入りを除く成 葉で測定
	(14) 成葉の表面基部の色	成葉表面の基部の地色	測 定 RHS カラーチャート	灰 淡 濃 緑 紫 紅 他 黄 緑 の	1 2 3 4 5 6 7 9		斑入りを除く成 葉で測定
	(15) 成葉の裏面先端部の色	成葉裏面の葉身先端部の地色	測 定 RHS カラーチャート	灰 淡 濃 緑 紫 紅 他 黄 緑 の	1 2 3 4 5 6 7 9		斑入りを除く成 葉で測定

重要な 形質	形質	定 義	調 査 方 法	状態又は区分	階級	標 準 品 種 名	備 考
(16) 成葉の裏面中間部の色	(16) 成葉の裏面中間部の色	成葉裏面中間部の地色	測 定 RHS カラーチャート	黄 灰 淡 濃 緑 紫 紅 他 の	1 2 3 4 5 6 7 9		斑入りを除く成 葉で測定
				黄 灰 淡 濃 緑 紫 紅 他 の	1 2 3 4 5 6 7 9		
				黄 灰 淡 濃 緑 紫 紅 他 の	1 2 3 4 5 6 7 9		
(17) 成葉の裏面基部の色	(17) 成葉の裏面基部の色	成葉裏面基部の地色	測 定 RHS カラーチャート	黄 灰 淡 濃 緑 紫 紅 他 の	1 2 3 4 5 6 7 9		斑入りを除く成 葉で測定
				黄 灰 淡 濃 緑 紫 紅 他 の	1 2 3 4 5 6 7 9		
				黄 灰 淡 濃 緑 紫 紅 他 の	1 2 3 4 5 6 7 9		
(18) 幼葉の葉色	(18) 幼葉の葉色	幼葉中間部表面の地色	測 定 RHS カラーチャート	黄 灰 淡 濃 緑 紫 紅 他 の	1 2 3 4 5 6 7 9		表面のみ
				黄 灰 淡 濃 緑 紫 紅 他 の	1 2 3 4 5 6 7 9		
				黄 灰 淡 濃 緑 紫 紅 他 の	1 2 3 4 5 6 7 9		

(02) 葉	(19) 斑の有無	斑の有無及び葉位による斑の発現の差異	観	察	無の幼葉全	無の幼葉全	1 2 3 4	A. dichlamydea A. pectinata A. chantinii 'variegata'	
	(20) 斑の鮮明度	成葉における斑の鮮明さの度合い	観	察	不鮮明	鮮明	1 2	A. pectinata A. chantinii 'variegata'	
	(21) 斑の変化	生育環境による斑の変化する有無	観	察	無有	無有	1 9	A. chantinii 'variegata' A. pectinata	
	(22) 表面の基本斑の模様	主枝中間部に着生した葉の表面の単一斑の模様あるいは複合斑の主要な斑の模様	観	察 (図 7)	点ば線縦切中覆爪横	斑斑斑縞斑斑輪斑縞	1 2 3 4 5 6 7 8 9	A. gamosepala A. pectinata A. fulgens 'discolor variegata' A. fasciata 'variegata' A. fasciata 'albo marginata' A. calyculata A. fosteriana	
(23) 表面の2次斑の模様		主枝中間部に着生した葉の表面の基本斑に次ぐ主要な斑の模様	観	察 (図 7)	点ば線縦切中覆爪横	斑斑斑斑斑輪斑縞	1 2 3 4 5 6 7 8 9		

重要な 形質	形質	定 義	調 査 方 法	状態又は区分	階級	標 準 品 種 名	備 考
(02) 葉	(24) 表面の3次斑の模様	主枝中間部に着生した 葉の表面の2次斑に次 ぐ主要な斑の模様	観 察 (図 7)	点 ば 線 縦 切 中 覆 爪 横 た	1 2 3 4 5 6 7 8 9		
	(25) 裏面の基本斑の模様	主枝中間部に着生した 葉の裏面の単一斑の模 様あるいは複合斑の主 要な斑の模様	観 察 (図 7)	点 ば 線 縦 切 中 覆 爪 横 た	1 2 3 4 5 6 7 8 9		
	(26) 裏面の2次斑の模様	主枝中間部に着生した 葉の裏面の基本斑に次 ぐ主要な斑の模様	観 察 (図 7)	点 ば 線 縦 切 中 た	1 2 3 4 5 6		

(02)	(27) 裏面の3次斑の模様	主枝中間部に着生した 葉の裏面の2次斑に次 ぐ主要な斑の模様	観 察 (図 7)	覆爪横 点ば線縦切中覆爪横	輪斑縞 た 縞	7 8 9			
葉	(28) 表面の基本斑の色	表面の主要な斑の色	測 定 RHS カラーチャート	黄 黄 淡 淡 紫 そ	白 黄 縞 縞 縞 縞 縞 縞 縞	1 2 3 4 5 6 7 8 9			

重要な 形質	形 質	定 義	調 査 方 法	状 態 又 は 区 分	階 級	標 準 品 種 名	備 考
	(29) 表面の2次斑の色	表面の基本斑に次ぐ2 次的な斑の色	測 定 RHS カラーチャート	白 黄 黄 淡 淡 紅 紅 他 の	1 2 3 4 5 6 7 8 9		
	(30) 表面の3次斑の色	表面の2次斑に次ぐ3 次的な斑の色	測 定 RHS カラーチャート	白 黄 黄 淡 淡 紅 紅 他 の	1 2 3 4 5 6 7 8 9		
	(31) 裏面の基本斑の色	裏面の主要な斑の色	測 定 RHS カラーチャート	白 黄 黄 淡 淡 紅 紅 他 の	1 2 3 4 5 6		

(02) 葉					
(32) 裏面の2次斑の色	裏面の基本斑に次ぐ2 次的な斑の色	測 定 RHS カラーチャート	紫 そ 紅 の 他	7 8 9	
(33) 裏面の3次斑の色	裏面の2次斑に次ぐ3 次的な斑の色	測 定 RHS カラーチャート	白 黄 黄 淡 淡 紫 そ 白 黄 緑 緑 紅 紅 他	1 2 3 4 5 6 7 8 9	
(34) 吸収鱗片の模様	成葉表面における吸収 鱗片の分布模様の濃淡	観 察	模 う 濃 様 す い 模 様 な し 模 様	1 2 3	A. fasciata A. chantinii

重要な 形質	形質	定 義	調 査 方 法	状態又は区分	階級	標 準 品 種 名	備 考
	(35) 吸収鱗片の多少 表面	成葉表面の模様部にお ける1mm ² 内の吸収鱗片 の数	測 定 個	少 (10個以下) 中 (11~30) 多 (31以上)	3 5 7		ルーベ使用
	(36) 吸収鱗片の多少 裏面	成葉裏面の模様部にお ける1mm ² 内の吸収鱗片 の数	測 定 個	少 (10個以下) 中 (11~30) 多 (31以上)	3 5 7		ルーベ使用
	(37) 葉の光沢	成葉表面の光沢の強弱	観 察	弱 中 強	3 5 7	A. vernalkei A. orlandiana 'ensign'	
	(38) 葉の厚さ	成葉中心部の中肋と葉 縁の中間点の葉の厚さ	測 定 単 位 mm	薄 い (0.5mm以下) 中 (0.6~1.4) 厚 い (1.5以上)	3 5 7		

(02) 葉	(39) 葉の硬さ	成葉の葉の硬さの程度	観	察	軟 中 硬	3 5 7	A. weillbachii A. fulgens A. chantinii	
	(40) とげの有無	葉縁におけるとげの有無	観	察	無 有	1 9	A. blumenavii A. fasciata A. tessmannii	
	(41) とげの密度 (基部)	成葉の最下位のとげから上方5cm内にあるとげの数	測	定 個	粗 (5ヶ以下) 中 (6~10) 密 (11以上)	3 5 7		
	(42) とげの密度 (中間部)	成葉の中間部5cm内にあるとげの数	測	定 個	粗 (5ヶ以下) 中 (6~10) 密 (11以上)	3 5 7		
(03) 花	(43) とげの形	成葉中間部におけるとげの形	観	察 (図8)	無 微 短 長 剛 鉤	1 2 3 4 5 6	A. blumenavii A. recurvata 'benrathii' A. recurvata 'ortgiesii' A. chantinii A. dichlamydea 'trinitensis' A. fosteriana	

重要な 形質	形質	定義	調査 方法	状態又は区分	階級	標準品種名	備考
(02)	(44) とげの色の色	成葉中間部におけるとげの色	測定 RHS カラーチャート	白 緑 黄 赤 紫 褐 黒 褐	1 2 3 4 5 6 7		
葉	(45) 開花時の葉数	通常栽培条件下における開花時の全葉枚数	測定 枚	1 0 枚以下 1 1 ~ 2 0 2 1 ~ 3 0 3 1 以上	1 2 3 4		
(03) 吸枝	(01) 吸枝の発生数	通常栽培条件下における吸枝の発生数の多少	測定 本	少 (1) 中 (2~3) 多 (4以上)	3 5 7		
(04) 花序	(01) 花序の型	花序の型	観察 (図 9)	頭状花序型 肉穗花序型 密穗状花序型 粗穗状花序型 總状花序型 複穗状花序型 複總状花序型	1 2 3 4 5 6 7	A. fasciata A. lamarchei A. comata A. blumenavii A. gamosepala A. dichlamydea A. fulgens	

(04) 花 序	(02) 1次分枝の発生角度	花軸に対する小花軸の 着生角度	測 定	I (30° 以下) II (31~60) III (61 以上)	3 5 7		
	(03) 小 花 の 着 生 密 度	花軸に対する小花の着 生密度 粗; 小花間に明らかな 空隙がある 中; 小花間にいくらか の空隙がある 密; 小花がほぼ密着し ている	観 察	粗 中 密	3 5 7	A. blumenavii A. fulgens A. fasciata	
	(04) 花序の分枝の有 無	花序が分枝しているか どうかの区分	観 察	無 有	1 9	A. blumenavii A. flugens	
	(05) 1 次 分 枝 数	分枝している場合、但 頂花穂は除く	測 定	少 (5本 以下) 中 (6 ~10) 多 (11~20) 極 多 (21 以上)	3 5 7 9		

重要な 形質	形質	定 義	調 査 方 法	状態又は区分	階級	標 準 品 種 名	備 考
(04) 花 序	(06) 2 次 分 枝 数	1花序の全体の第2次分枝数	測 定 本	少 (10本以下) 中 (11~30) 多 (31以上)	3 5 7		
	(07) 花 茎 の 抽 出 角 度	株の垂直軸に対する花茎の抽出角度	観 察	直立から斜立 下 垂 他 そ の	1 2 9	A. fasciata A. racinae	
	(08) 花 序 の 長 さ	花軸の基部から花序先端部までの長さ	測 定 単 位 cm (図10)	5 cm 以下 6 ~ 10 11 ~ 15 16 ~ 20 21 ~ 30 31 ~ 50 51 ~ 80 81 以上	1 2 3 4 5 6 7 8		
(09) 花 序 の 長 径	花序の最大径		測 定 単 位 cm (図10)	1.0 cm 以下 1.1 ~ 2.0 2.1 ~ 3.0 3.1 ~ 5.0 5.1 ~ 10.0 10.1 ~ 15.0	1 2 3 4 5 6		分枝する場合は 広がり、穂を含 む

(04) 花 序					
				15.1~20.0 20.1 以上	7 8
(10) 苞 形	観 察 (図11)	線 形	線 形	線 形	1 2 3
(11) 苞 の 長 さ	開花時の花序最下位に おける苞の基部から先 端部までの長さ	測 定 cm 単 位 (図10)	短 (2.0cm以下) 中 (2.1~5.0) 長 (5.1 以上)	短 (2.0cm以下) 中 (2.1~5.0) 長 (5.1 以上)	3 5 7
(12) 苞 の 状 態	開花時における花軸に 対する苞の展開角度	観 察	斜 上 下 垂 混 在	斜 上 下 垂 混 在	3 5 7
(13) 苞 の 色	開花時における苞の主 要な色	測 定 RHS カラーチャート	白 緑 黄 橙 赤 桃 紫 の 他 そ	白 緑 黄 橙 赤 桃 紫 の 他 そ	1 2 3 4 5 6 7 9

重要な 形質	形質	定 義	調 査 方 法	状態又は区分	階級	標 準 品 種 名	備 考
(04) 花 序	(14) 苞の毛の多少	開花時における苞の毛の多少	観 察	少 多	3 7	A. racinae A. fasciata	
	(15) 苞のとげの有無	開花時における苞のとげの有無	観 察	無 有	1 9	A. caudata A. fasciata	
	(16) 開花時の苞の生死	開花時における苞の生死	観 察	枯 生	1 9	A. fulgens A. fasciata	
(05) 小 花	(17) 1花序の小花数	1花序に着生した小花の数	測 定	少 (30ヶ以下) 中 (31~100) 多 (101~200) 極 多 (201以上)	3 5 7 9		
	(01) がくの長さ	小花のがくの基部から末端までの長さ	測 定 cm 単 位	0.5cm 以下 0.6 ~ 1.0 1.1 ~ 2.0 2.1 ~ 3.0 3.1 以上	1 2 3 4 5		

(05) 小花	(02) 花の長さ	開花時におけるがくの 主要な色	測定 RHS カラーチャート	白 緑 黄 橙 赤 桃 青 その他 その	1 2 3 4 5 6 7 9		
	(03) 花の長さ	花弁の最大長 (苞にかくれた部分を含む)	測定 cm 単位	0.5 cm 以下 0.6 ~ 1.0 1.1 ~ 2.0 2.1 ~ 3.0 3.1 以上	1 2 3 4 5		
	(04) 花の長さ	露出部の花弁の主要な 色	測定 RHS カラーチャート	白 緑 黄 橙 赤 桃 青 その他 その	1 2 3 4 5 6 7 9		

重要な 形質	形質	定 義	調 査 方 法	状態又は区分	階級	標 準 品 種 名	備 考
(05) 小 花	(05) 果 実 の 色	果実の成熟期における 表面の色	測 定 RHS カラーチャート	白 緑 黄 橙 赤 桃 青 その他	1 2 3 4 5 6 7 9		
(06) 花 茎	(01) 花 茎 の 長 さ	花茎基部より花軸基部 までの長さ	測 定 cm 単 位 (図10)	5 cm 以下 6 ~ 10 11 ~ 20 21 ~ 30 31 ~ 50 51 ~ 80 81 以上	1 2 3 4 5 6 7		基部から花序基部まで
	(02) 花 茎 の 太 さ	花茎中間部の直径	測 定 mm 単 位	細 (5mm以下) 中 (6~15) 太 (16以上)	3 5 7		葉鞘部から抽出 している部分の 中央部

(06) 花 茎	(03) 花 茎 の 色	花茎中間部の色 (苞で覆われている場合は苞を取り除いて測定する)	測 定 RHS カラーチャート	淡 黄 淡 赤 そ 緑 緑 赤 紫 他 緑 黄 赤 褐 の	1 2 3 4 5 6 7 8 9		
	(04) 花茎の苞状葉の状態	苞が花茎に密着している程度	観 察	庄 開 着 出	1 2	A. caudata A. chantinii	
	(05) 苞状葉の色表面	苞葉の表面の主要な色	測 定 RHS カラーチャート	淡 黄 淡 赤 そ 緑 緑 赤 紫 他 緑 黄 赤 褐 の	1 2 3 4 5 6 7 8 9		

重要な 形質	形質	定 義	調 査 方 法	状態又は区分	階級	標 準 品 種 名	備 考
(06) 花 基	(06) 苞 状 葉 の 色 裏 面	苞葉の裏面の主要な色	測 定 RHS カラーチャート	淡 緑 黄 赤 紫 他 黄 緑 赤 褐 の 淡 赤 そ	1 2 3 4 5 6 7 8 9		
	(01) 開 花 期	主要な開花季節	観 察	春 夏 秋 冬 定 期 他 不 そ	1 2 3 4 5 9		花穂が正常な形 になり苞が十分 発生した時
	(02) 開 花 の 早 晩 性	同一種及び同一系統内 における開花期の早晩	観 察	早 通 晩 普	3 5 7		各季咲きごとに
(07) 生 態 的 特 性	(03) 開 花 齢	通常栽培条件下におけ る株分けから開花まで の期間	観 察	1 年 以 内 上 1 年 以 上	1 2		

(07) 生態的特性					
(04) 観賞期間	苞が着色してから褐変するまでの期間	観	察	1週間以内 1週間～1ヶ月 1ヶ月以上	1 2 3
(05) 葉焼けの難易	直射日光下において日焼けが起こり易いか否かの区分	観	察	難易	1 9
(06) 耐寒性	生育が継続できるおおよその最低気温	観	察	弱 (15℃)	3
				中 (10℃)	5
				強 (5℃)	7
(07) 耐陰性	通常栽培条件下における耐陰性の強弱	観	察	弱 中 強	3 5 7
(08) 病害抵抗性	主要な病害に対する抵抗性	観	察	弱 中 強	3 5 7
(09) 虫害抵抗性	主要な虫害に対する抵抗性	観	察	弱 中 強	3 5 7

エクメア種苗特性分類調査基準参考図

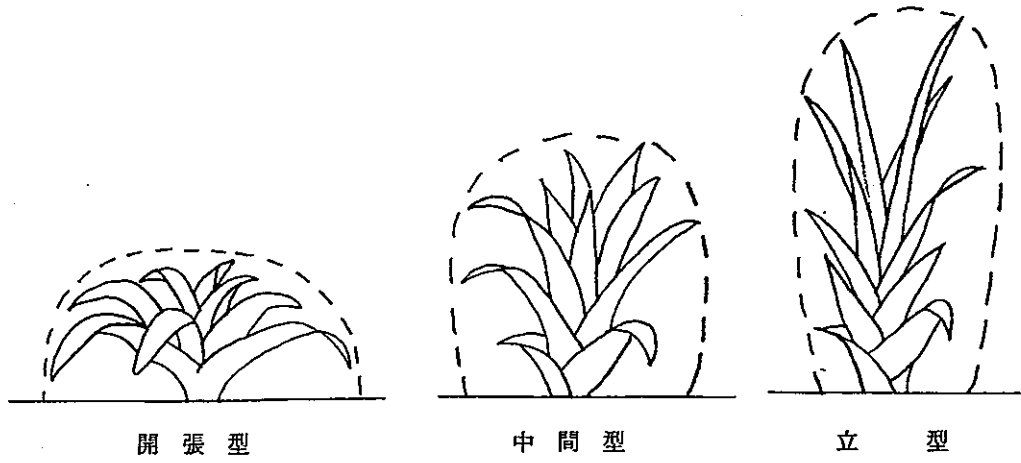


図1 01-01 草型

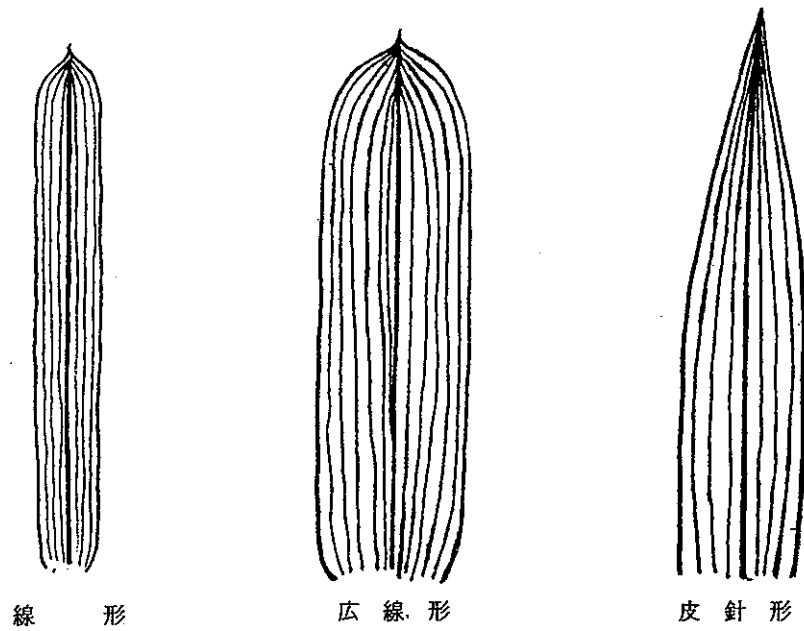


図2 02-01 葉形

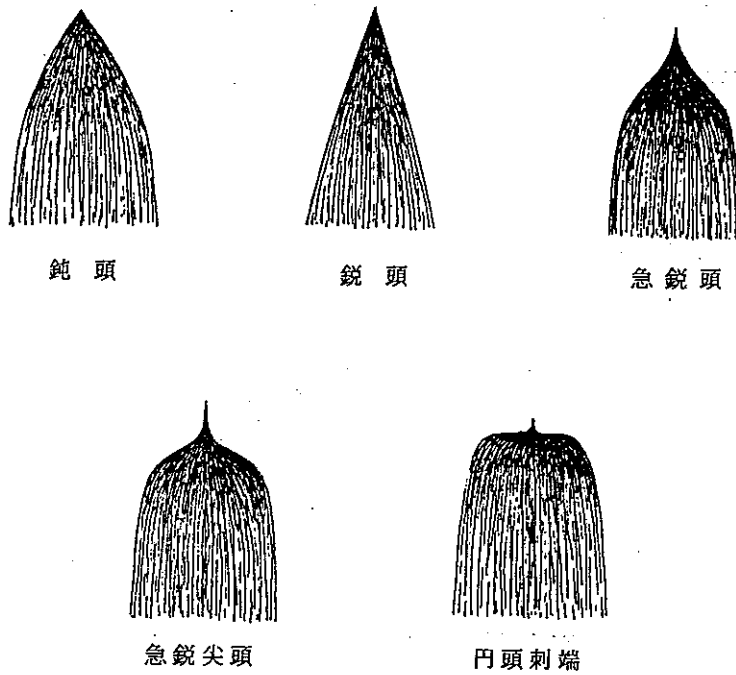


図3 02-02 葉の先端の形。

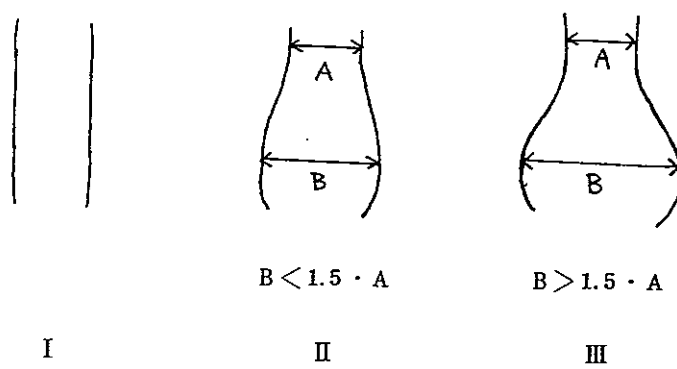


図4 02-03 葉身基部の広がりの形



図5. 02-05 葉の断面の形

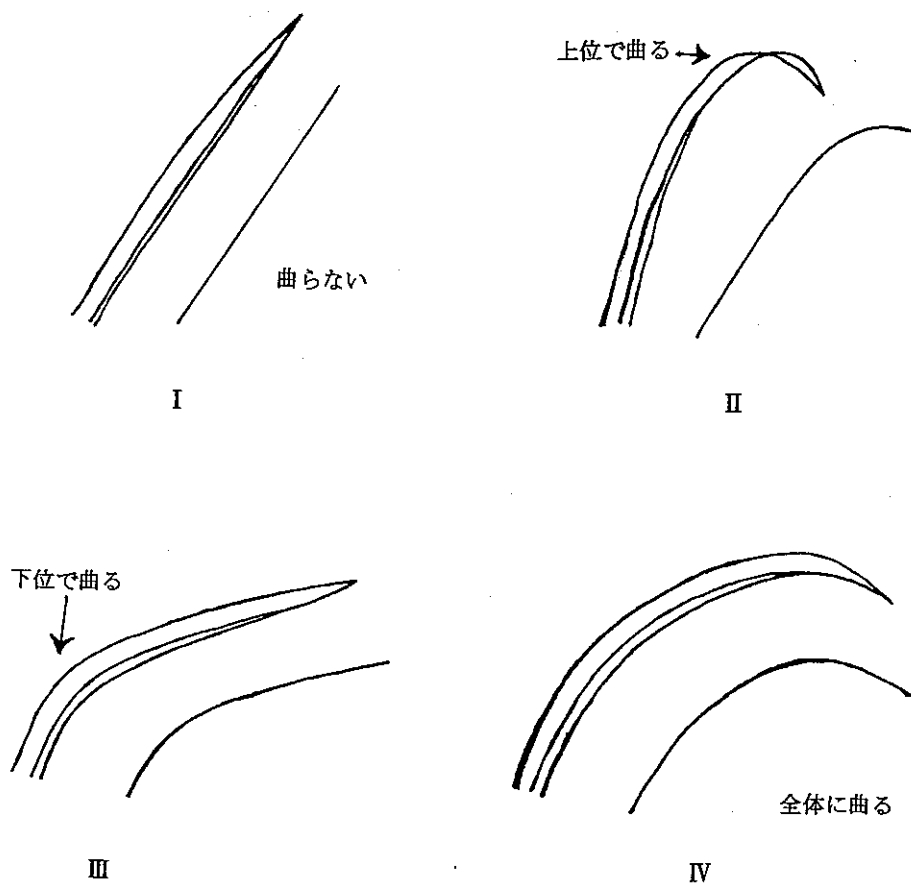
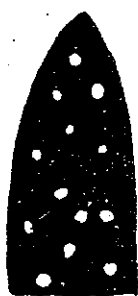


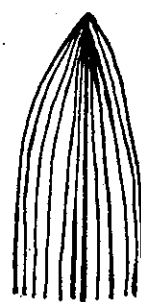
図6. 02-06 葉身のそり



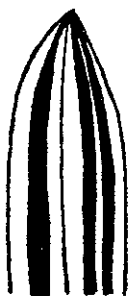
点 斑



ぼた斑



線 斑



縦 縞



切 斑



中 斑



覆 輪



爪 斑



横 縞
(虎斑を含む)

0 2 - 2 2	表面基本斑の模様	0 2 - 2 5	裏面基本斑の模様
図 7. 0 2 - 2 3	表面 2 次斑の模様	0 2 - 2 6	裏面 2 次斑の模様
0 2 - 2 4	表面 3 次斑の模様	0 2 - 2 7	裏面 3 次斑の模様



無 刺



微 刺



短 刺



長 刺

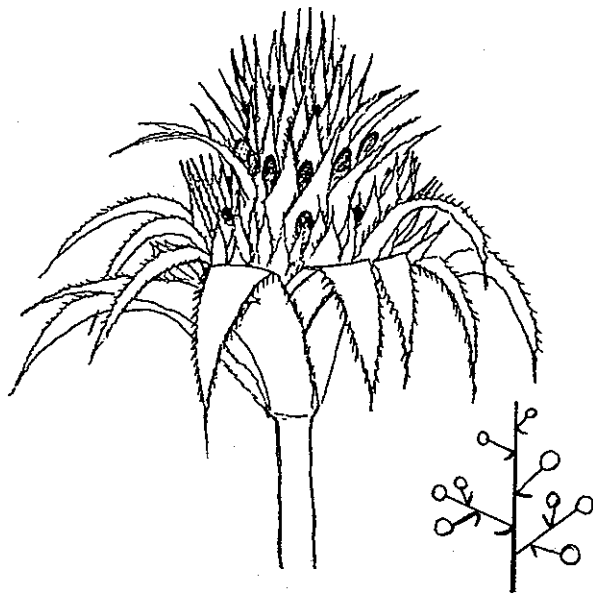


剛 刺

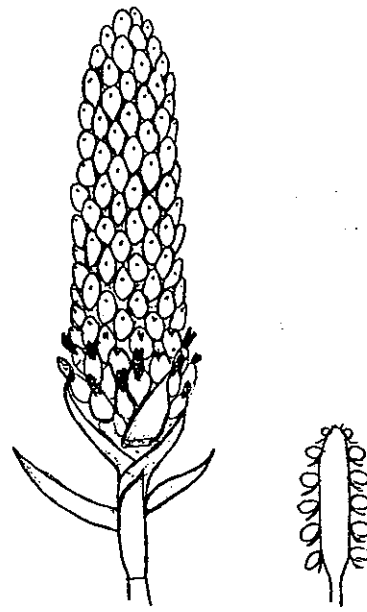


鉤 刺

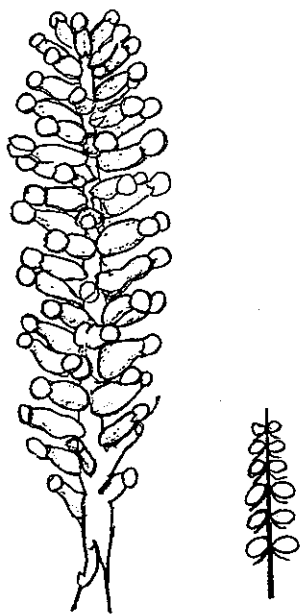
図 8. 0 2 - 4 3 葉のとげの形



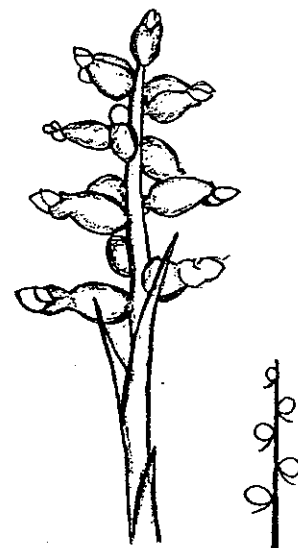
頭状花序型



肉穗花序型



密穗状花序型

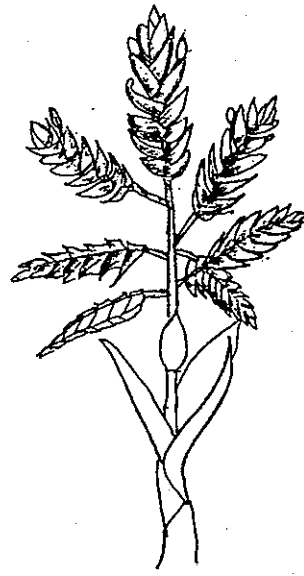


粗穗状花序型

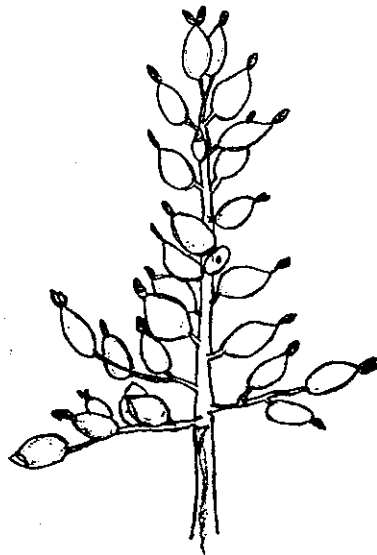
図9. 04-01 花序の型



繖狀花序型



穗狀花序型



繖狀花序型

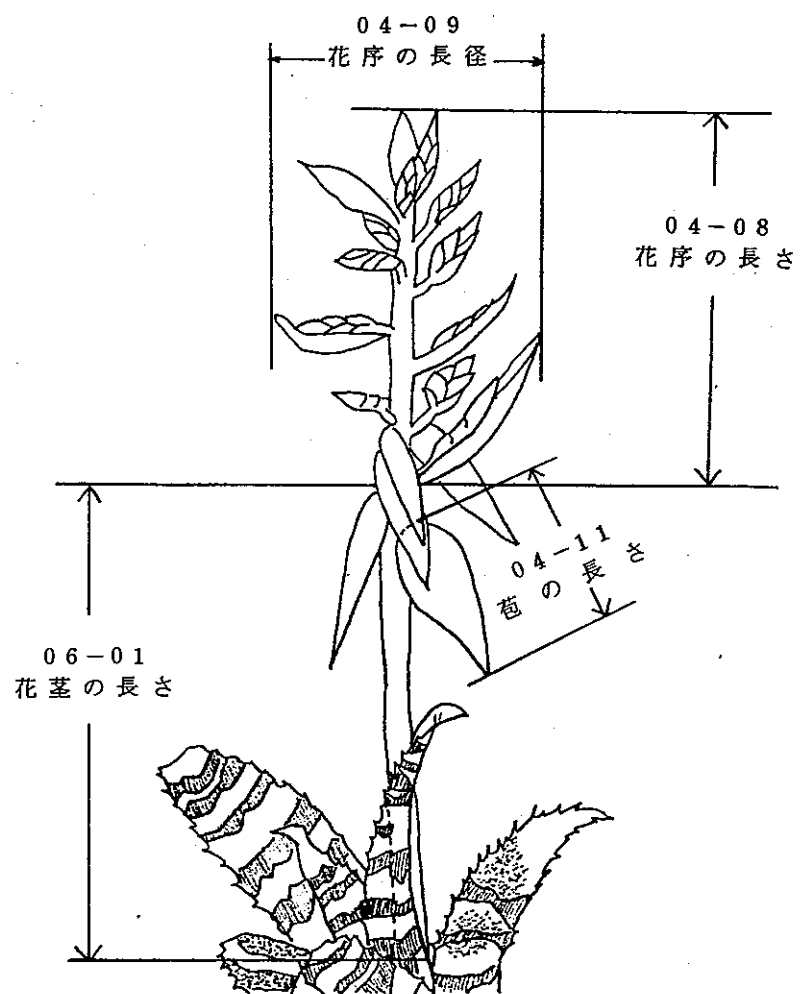


図10. 04-08 花序の長さ 04-11 苞の長さ
 04-09 花序の長径 06-01 花茎の長さ



線形



広線形



皮針形

図11. 04-10 苞の形

添 付 資 料

(エ ク メ ア)

※ 育成経過と特性概要

1. 作 物 名：
2. 種 名：
3. 品 種 名： (ローマ字読み：)
4. 対 照 品 種 名： (ローマ字読み：)
5. 育 成 の 目 標： 目標とした形質
6. 育 成 者 名：
7. 販 売 者 名：
8. 育 成 経 過： 交配組合せ, 選抜経過 等
9. 用 途： 切花・鉢物・庭園用の別
10. 新 規 性：
 - (1) 分類基準記載形質における新規性
 - (2) 記載以外の形質における新規性
11. 栽培上の留意点：
12. その他参考事項：

※ 特性検定のための栽培条件及び耕種概要

項 目	記 載 事 項
1. 栽 培 地	
2. 栽 培 条 件	
(1) 施 設	a. ガラス室 b. ビニルハウス c. その他
(2) 温 度 管 理	(冬期の最低温度, 換気の程度 等)
(3) 光 管 理	(遮光の有無または程度)
(4) 水・湿度管理	(かん水の程度 等)
3. 植 付 け 条 件	a. 地 床 b. 鉢
5. 培 養 土	土質または鉢用土

項	目	記	載	事	項
5. 作	期	a. 繁殖期	年	月	日 (繁殖方法:)
		b. 鉢上げ期	年	月	日 (鉢サイズ:)
		c. 定植期	年	月	日 (鉢サイズ:)
		d. 調査期	年	月	日
6. 開	花 調 節				
	(1) 調 節 の 有 無				
	(2) 調 節 の 方 法				
	(温度・日長・化学薬品の別及び具体的方法)				
	(3) 調 節 の 効 果				
	(自然開花との日差・花の形質への影響 等)				
7. 施	肥	a. 施肥量 (地床: kg/a , 鉢・箱: kg/m^2)			
			N	P ₂ O ₅	K ₂ O
		もと肥 (月 日) () () ()			
		追 肥 (月 日) () () ()			
		追 肥 (月 日) () () ()			
8. 薬	剤 散 布	a. 殺虫剤			
		種類	回数		
		b. 殺菌剤			
		種類	回数		
		c. 除草剤			
		種類	回数		
9. その他	参考事項				